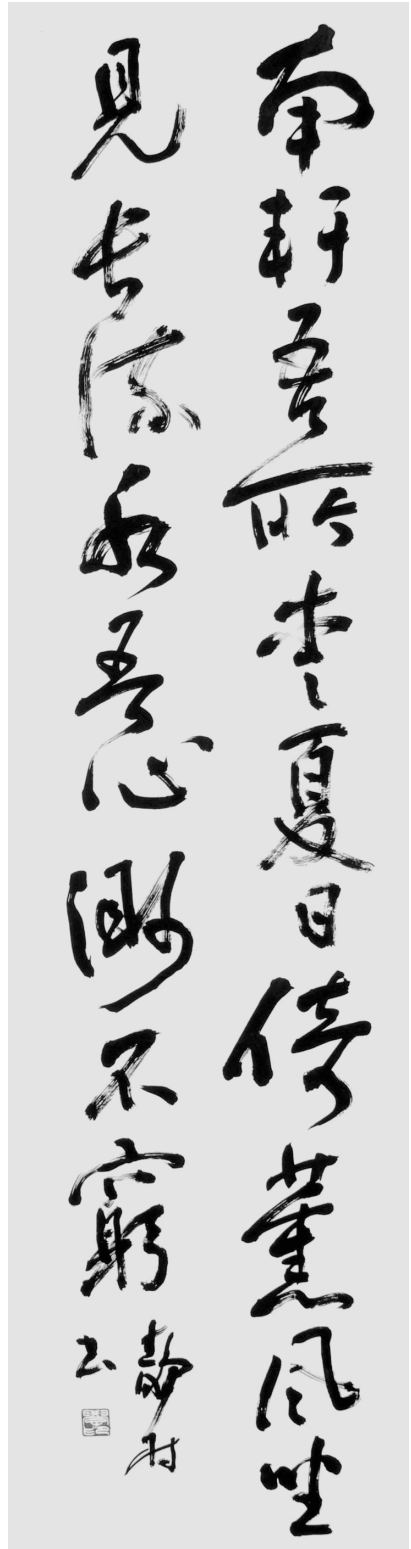


A

鈴木静村書

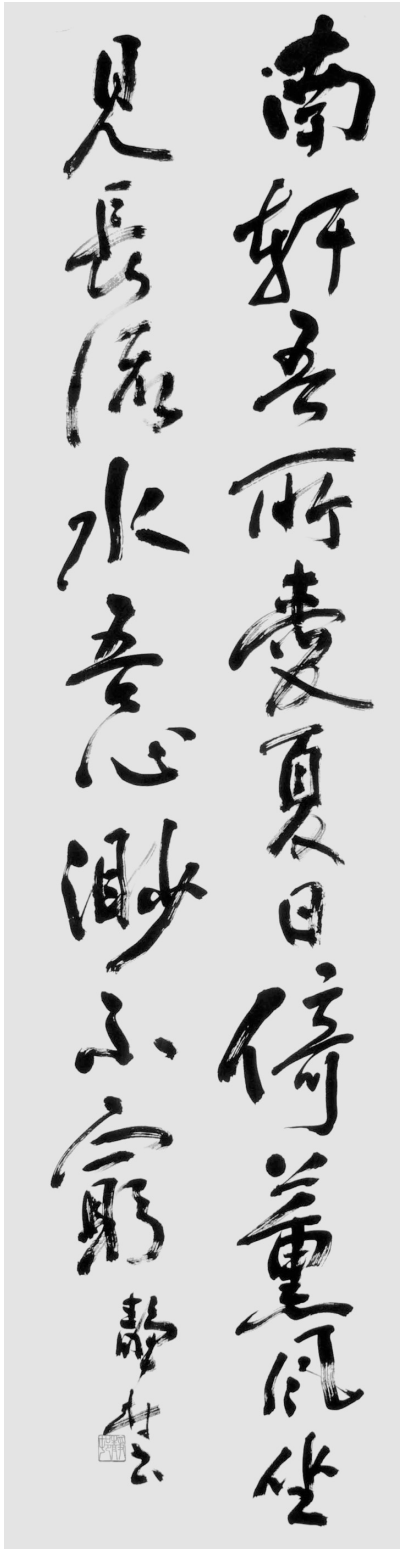
南軒吾所愛 夏日倚薰風 坐見長流水 吾心渺不窮 (頼春水)  
 南軒吾が愛する所、夏日薰風に倚り、坐ろに長流の水を見れば、吾が心渺として窮らず。



B

概観

今年二回目の五言絶句課題。字詰めは私の癖で右行11字、左行9字となることが多い。勿論決められたものはない。文字の大小、縦画(未画)の多少によってはお変ってくる。この作例には私が好む縦画もなくポピュラーな字詰め、墨継ぎは左右二か所(倚・水)。最初を含め「三角法」を意識し「潤」のバランスを採りたい。



主な文字について

南 A点を省いた形、B点を打った形。この書体が殆ど。軒 AB偏に相違。所 古典にはこの書体が多い。愛 ABこの字から渴筆に入る。墨の表出に留意。倚 AB旁に相違。薰 草、行書で。風坐 画の接し方に注目。見 B末画右下へ。長流 AB共連綿、渴筆の扱い慎重に。水 B何紹基より。渺 B末画不明確、スキリと払う。窮 B穴冠の形、蘇軾・米芾に多い。

訳：南向きの軒端は私の愛する所、夏の日に薫る風の中に身をもたせかけ、なんとはなしに長い川の流れを見ていると、私の心は果てしなくきわまることがない。

予告 (十一月二十二日締切)

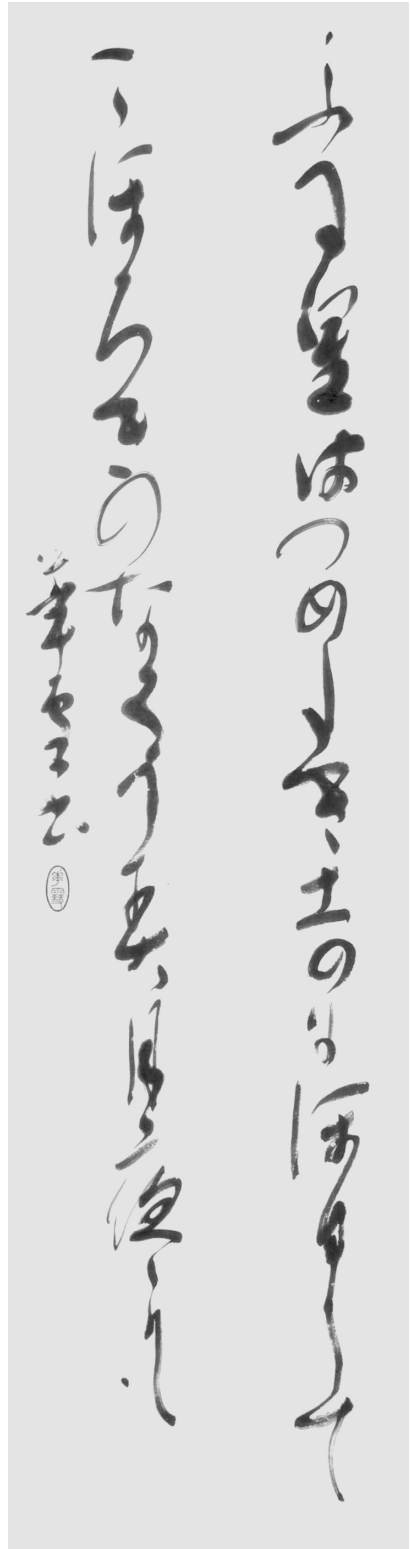
能法之士必彊毅而勁直 (韓非子) 楷書・一行書

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

A

平岡華雪先生書

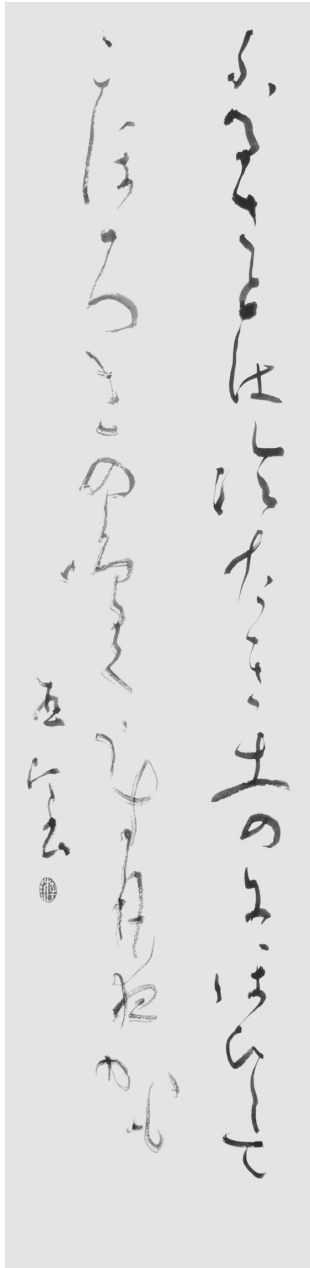
ふるさととはつめたき土のほひしてこほろぎのなくうす月夜かも (前田夕暮)  
ふる里はつめ多き土の尔ほ日してこほろぎのな久う春月夜可も



B

立川遊汀先生書

ふるさととは冷たき土の尔ほひしてこほろぎの鳴くうす月夜かも



学 び 方

現代短歌ですので草仮名は、三句目(尔)だけ、意識して使用を避けました。  
まずはじめは、作品を書く前の気持ちの準備について——①課題をよく理解する。②筆、紙に馴れるための準備運動を行う。(書き損じの紙に、左から右へ、右から左へと穂先の表裏の運動を。縦も同様)に上から下へ、下から上へと)③この時筆圧を一定にすることが大切。「の」字の連続運動、逆方向もそれぞれ繰り返し返します。運筆に馴れましたら次回はいよいよ作品作成についてです。

予告 (十一月二十二日締切)

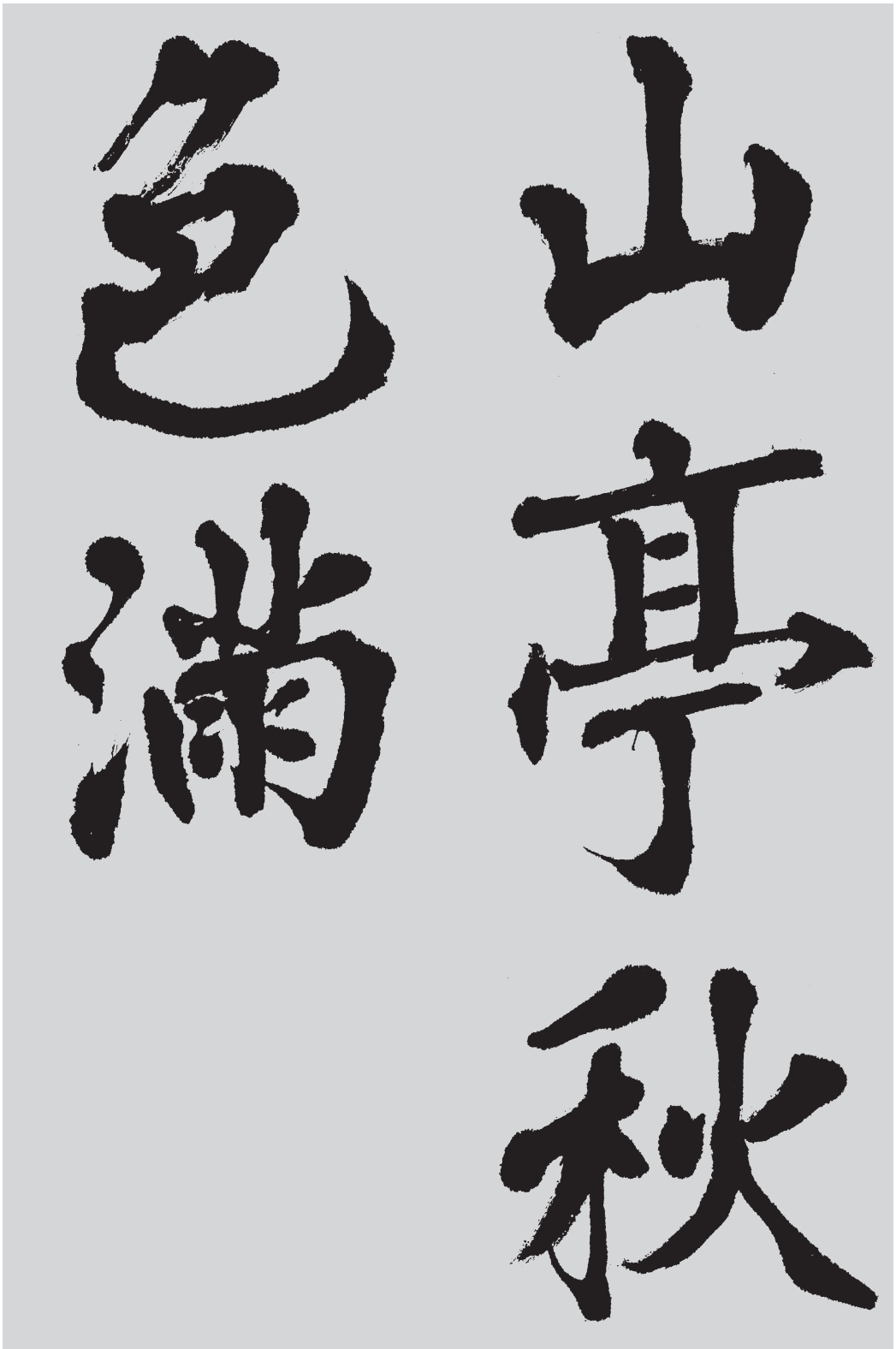
風の吹き梢ゆれあふ夕暮は空くれにつつ高く澄むなり (岡麓)

前田夕暮 (1883 ~ 1951)  
明治から大正、昭和にかけて活躍した歌人。尾上柴舟に師事、同期に若山牧水も入門、以後親交を深める。夕暮のふるさととは神奈川県秦野市、華雪先生は夕暮とほぼ同年代を生きたことで、何か共通の想い、郷愁のようなものを感じられたのではないかと想像しました。作品は高塚竹堂先生が提唱された調和体を継承され、更に現代風に新味を加えられたように思います。

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

平岡華雪先生書

山亭秋色満つ。(唐太宗)

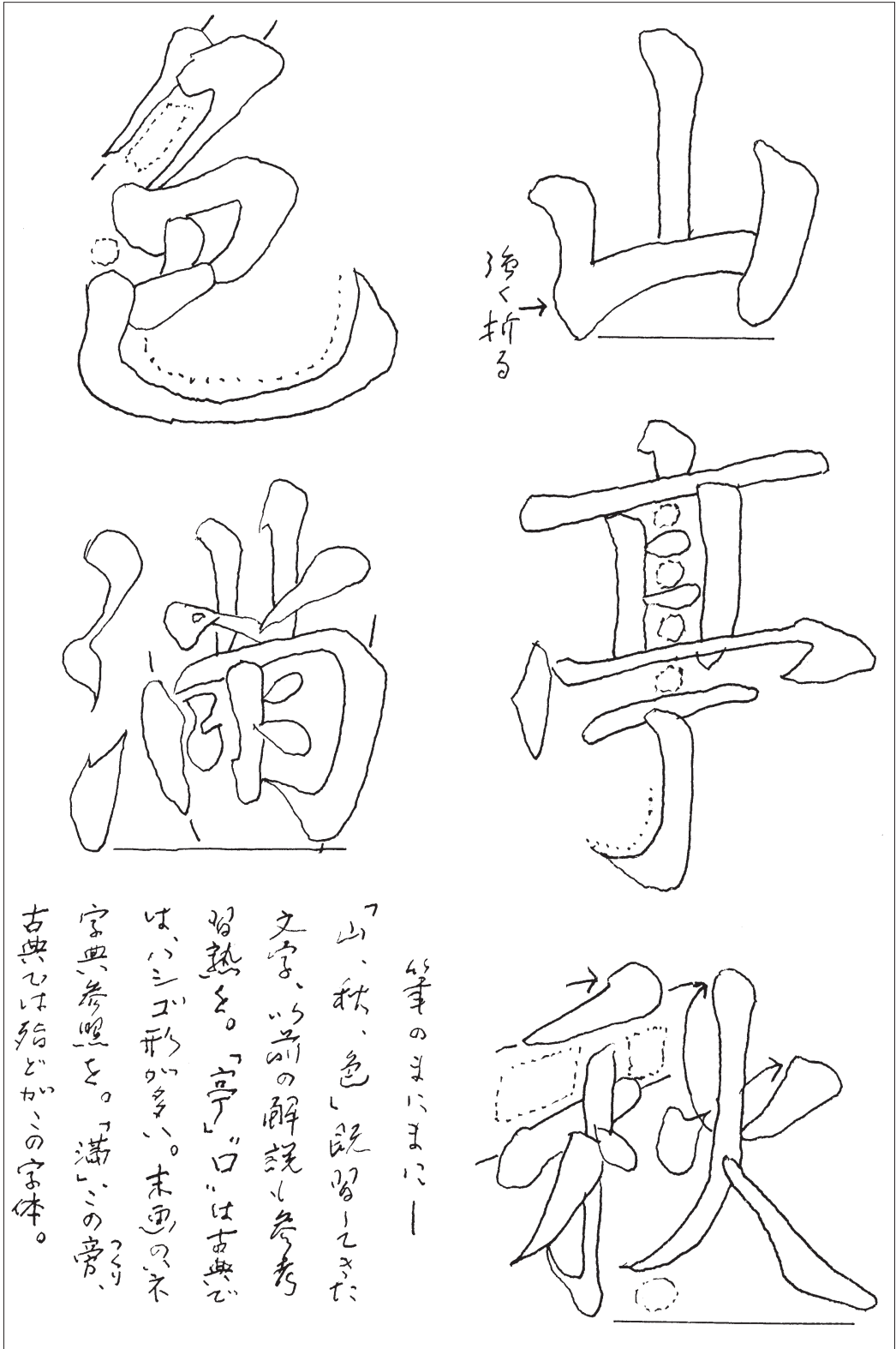


訳：山のあずまやは秋色が満ちている。

▼注意：…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

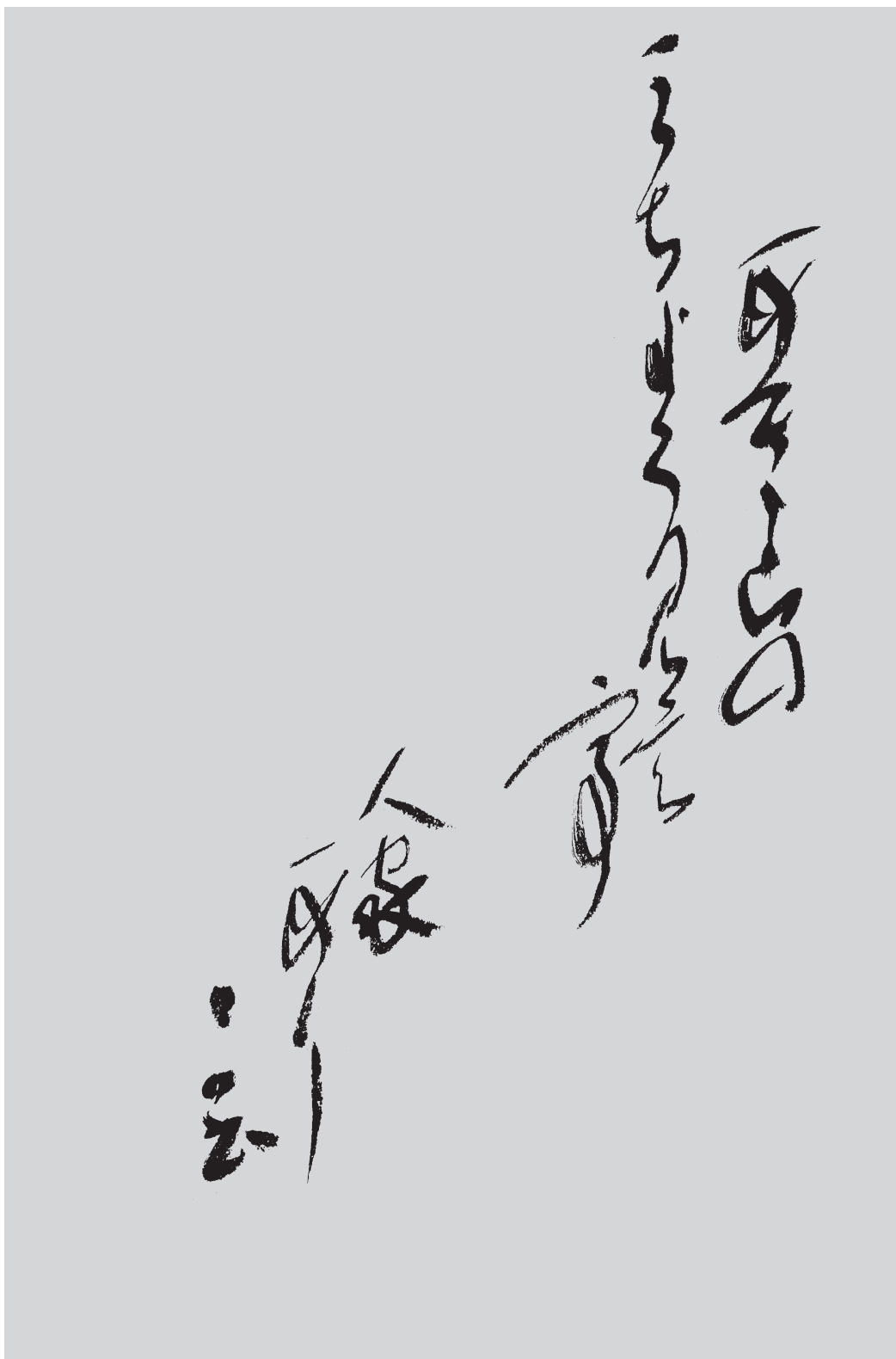
- ① 漢字部
- ② 支部名または都道府県名
- ③ 氏名または雅号
- ④ 新

会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



平岡華雪先生書

秋山のみちよく見えて人家あり(旭川)



▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ①漢字部
- ②支部名または都道府県名
- ③氏名または雅号
- ④新

会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

脈終線の續に浮圓のこと、そこで「落款し、このようにマウチさせるか——」。

「人」の筆まゝ上心は右群二行目、漸次後めつつ「下」が引せのとならぬ様に。

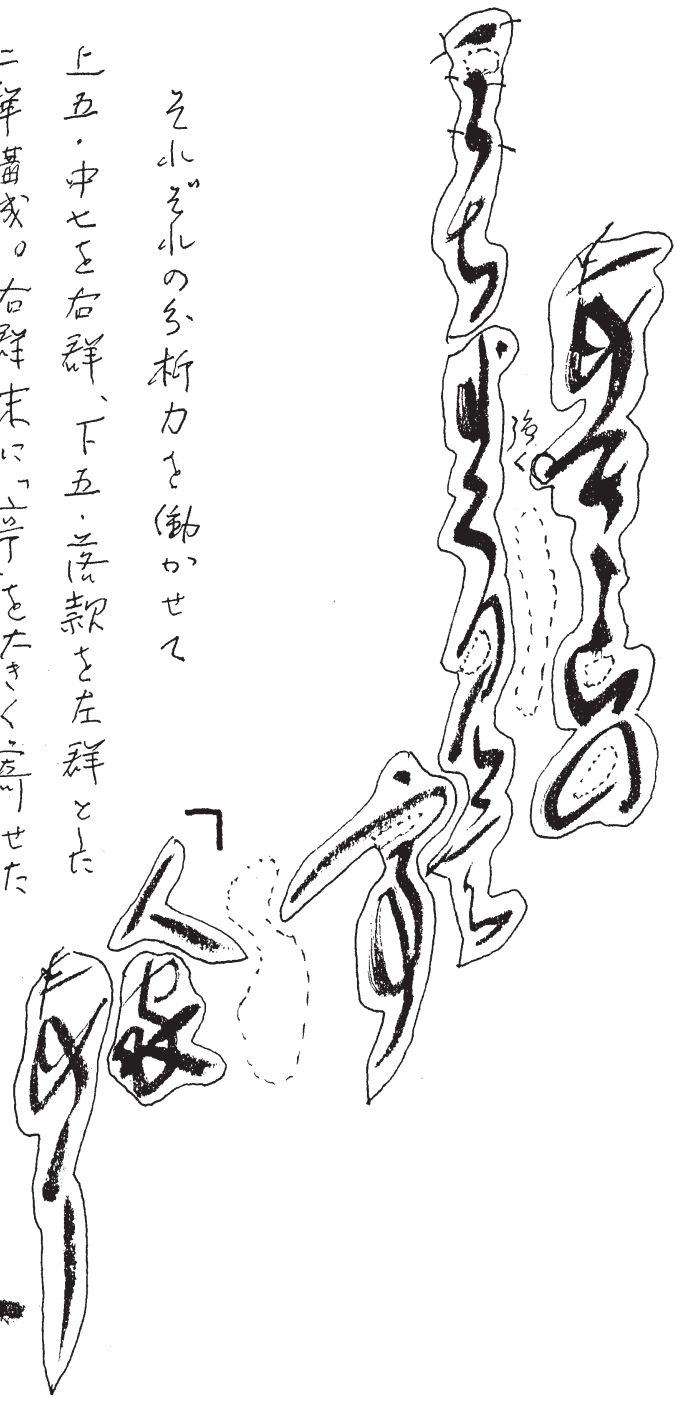
「女」の筆まゝ上心は右群二行目、漸次後めつつ「下」が引せのとならぬ様に。

「人」の筆まゝ上心は右群二行目、漸次後めつつ「下」が引せのとならぬ様に。

「女」の筆まゝ上心は右群二行目、漸次後めつつ「下」が引せのとならぬ様に。

上五・中七を右群、下五・落款を左群とした  
 二群構成。右群末に「下」を大きく写可せた  
 筆まゝ上心が時折試みる手法。墨を継がけ左群の

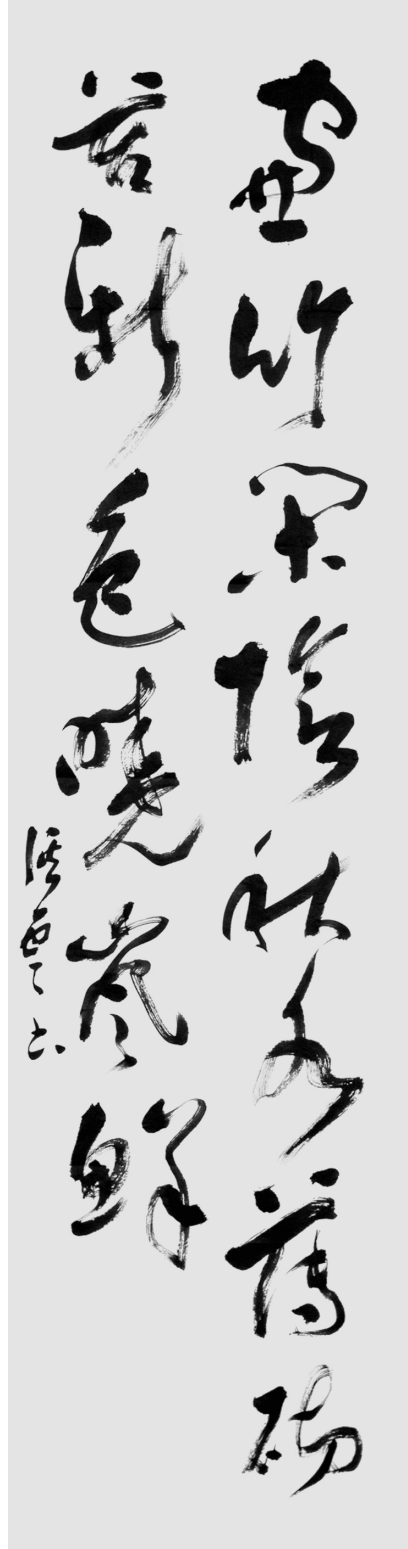
それぞれの分析力を働かせ



条幅部随意参考

神野溪雲先生書

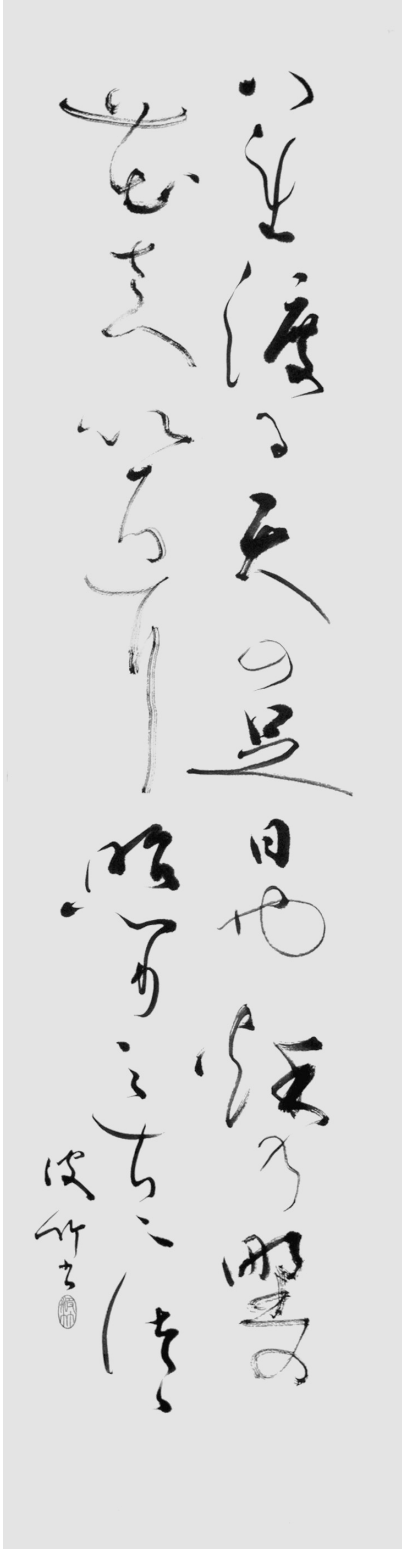
窓竹閑陰秋水薄 砌苔新色曉嵐鮮（唐樞）  
窓竹閑陰秋水薄り、砌苔新色曉嵐鮮なり。



訳：窓にそった竹の小かけには秋の水が迫りきたるが如く、敷石に蒸した新苔の色は暁の山気が侵して美しい。

喜多波竹先生書

はれ渡る天の足日や秋の野の花さへいろに照りみちにつつ（島木赤彦）  
八連渡る天の足日や秋乃野の花さへいろに照利三ち二徒々



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
  - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

# 題 課 部 書 臨 幅 条

外川霞夕先生担当

九成宮醴泉銘 唐 歐陽詢



秘書監檢校侍中鉅鹿郡公臣魏徵

秘書監、檢校侍中、鉅鹿郡公、臣魏徵（勅を奉じ撰す）

概観

唐の太宗が隋の仁寿宮を修理造営し九成宮と改名した。貞観六年（六三二）夏、避暑に行った時、その一隅に甘露な泉が湧き出たのを記念し碑を建立した。勅命により碑文を魏徴に撰文させ、歐陽詢が楷書で書いた。七十六才の時である。全二十四行、毎行五十字。現在、碑は陝西省麟遊県西天台山にある。楷書の代表作。

造形と線質の特徴

- ・ たて長で胸を引きしめた背勢
- ・ たて画は垂直、長く突き出た結構
- ・ 横画直線に近い、間隔が均等、右上がり
- ・ するどい直線
- ・ 線質は筆勢に強靱さが表われ筆圧は軽く変化少なく一貫している。直線的で反りを含ませている。



各字のポイント

(イ) 書 監

始筆は軽く当て逆入筆で、終筆はもときた方に押し戻す。

(ロ) 中 郡

下から上に垂直に、終筆はもとの方に押し上げて返す。

(ハ) 檢 校

ハネは三角、ハネ出してすぐ筆先を戻し、中側の角度直角。

(ニ) 公

点は左から入り右下へ返す。(ホ) 監の皿 中 鉅の巨

転折はもときた方に突き上げながら垂直におろす。

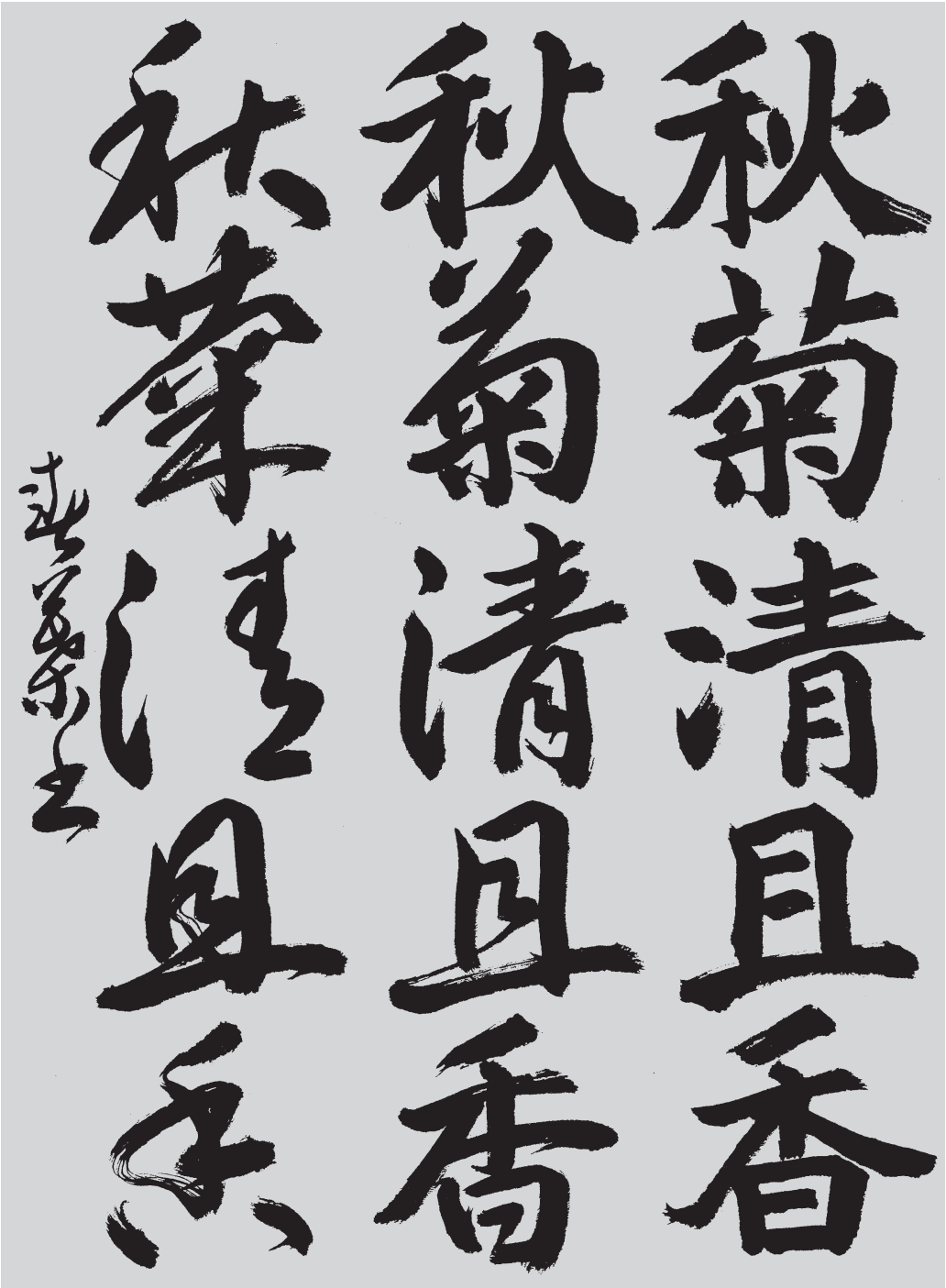
※条幅臨書部は出品料無料です。是非チャレンジを！

◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。



小林 春葉 先生 書

秋菊清且香（王義山）  
秋菊清且香し。



訳：秋になって咲いた菊は清くかつ香を放つ。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

新上野ギャラリー空開催の

小島祥子さん、天城山油彩展と併せて  
五年ぶりのクラス会を開き、気ままな  
ひとときを楽しくみたいと思っております

詳しくは後便にて

かしこ

十月一日

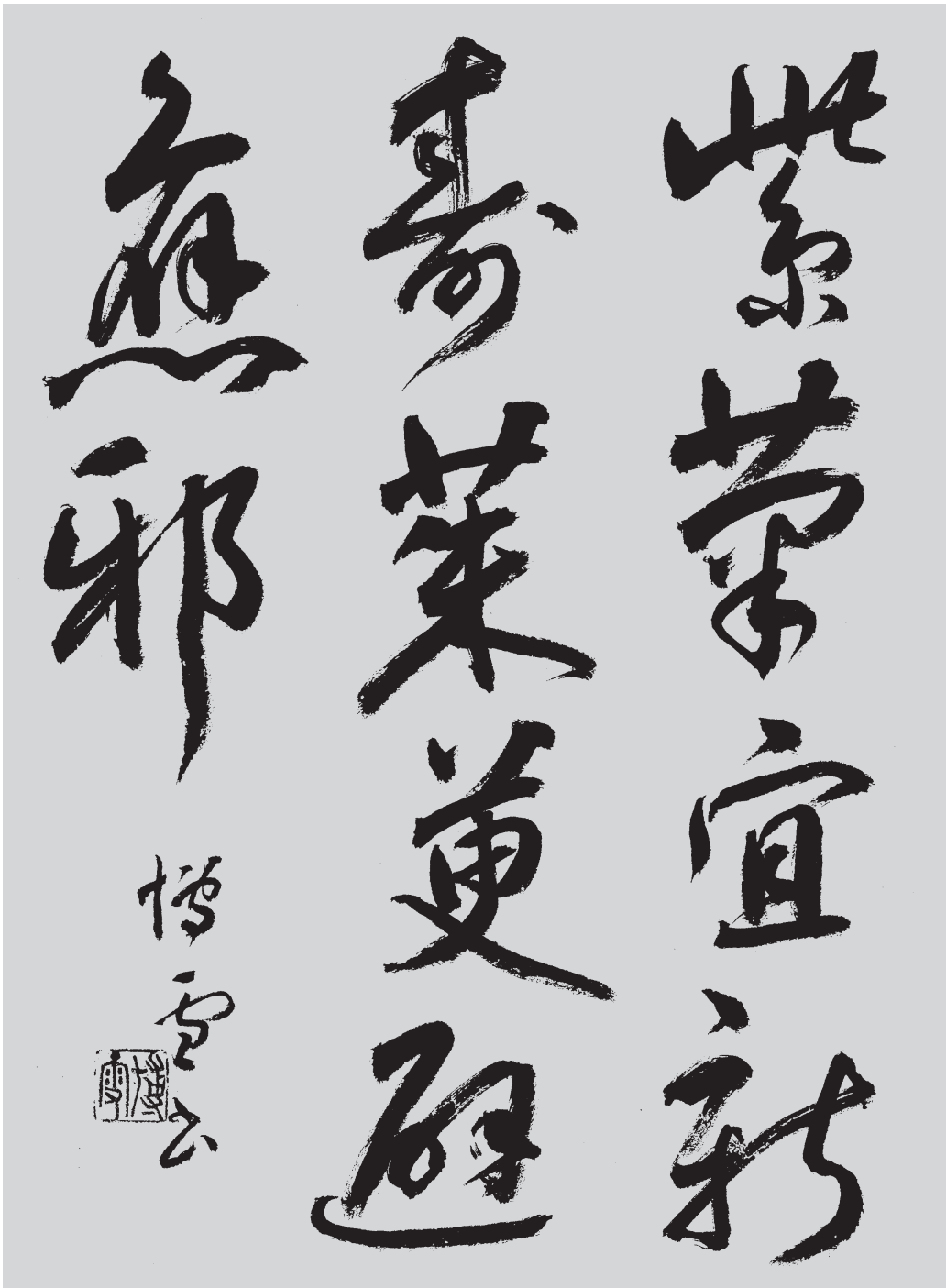
大瀬 元子

水端 美代様

◆随意部参考として出品してください。

本 田 博 雪 先 生 書

紫菊宜新壽 茱萸避舊邪（趙彦昭）  
紫菊新壽に宜しく、茱萸旧邪を避く。

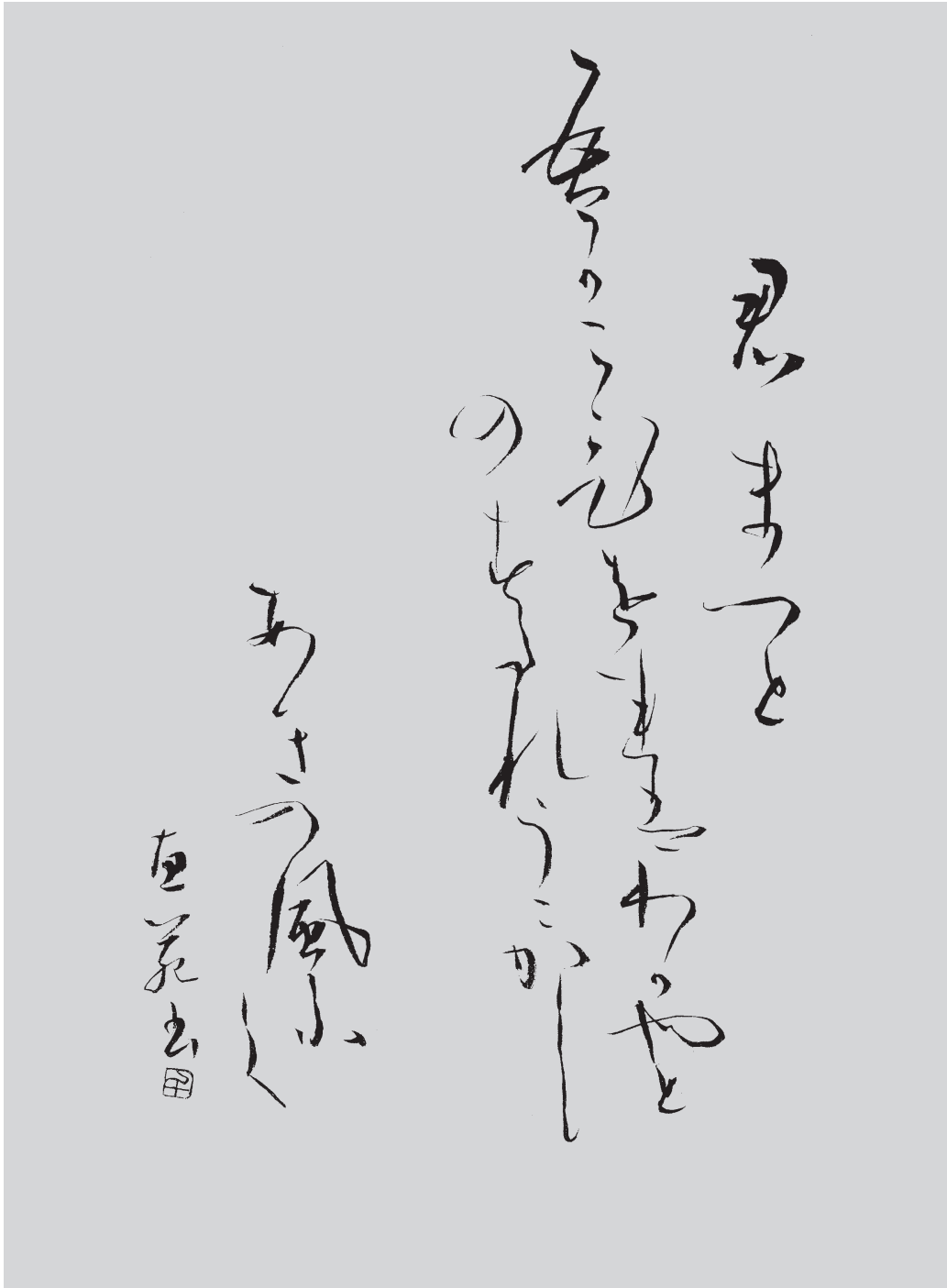


訳：紫色の菊花は新に祝賀するに宜しく、川はじかみは古い邪気を除き払うによい。

添削又は手本希望者は本会規定により、本田博雪先生（〒235-0024 横浜市磯子区森が丘2-16-18）に直接お申し込みください。

長澤 恵苑 先生 書

君待つと吾が恋ひをれば我が屋外の簾動かし秋の風ふく（万葉集）  
額田王  
君まつと吾可こ飛を連盤わ可やとの春多れうこかしあきの風ふ久



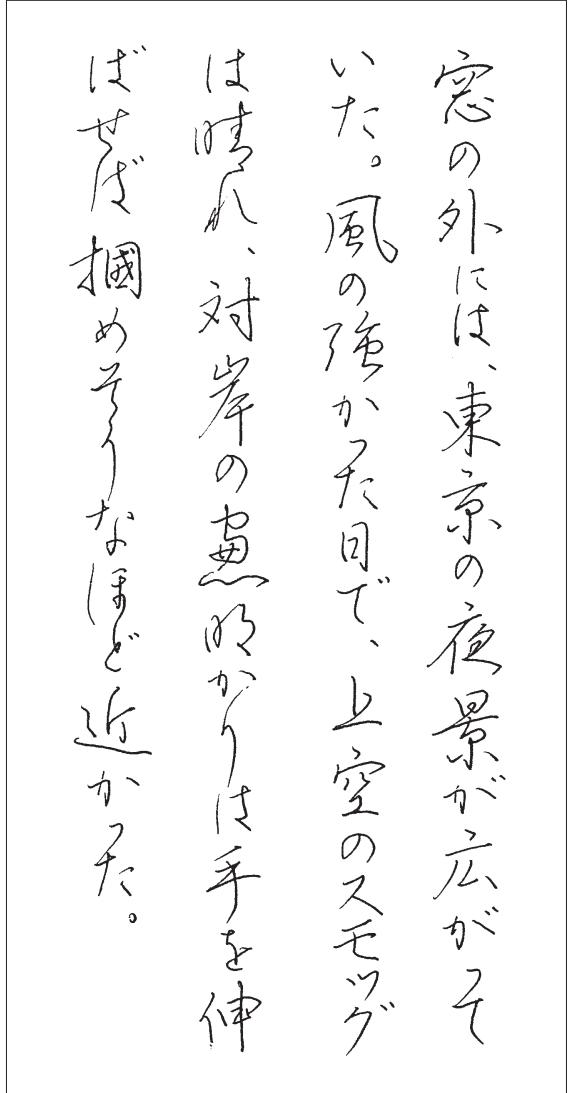
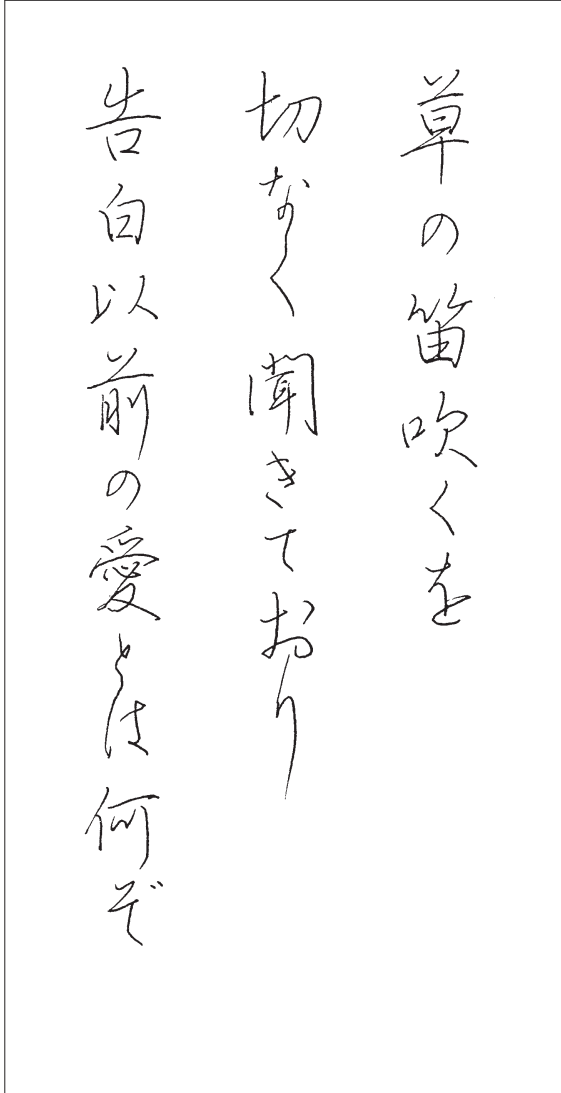
添削又は手本希望者は本会規定により、長澤恵苑先生（〒155-0031 世田谷区北沢4-4-7）に直接お申し込みください。

路川千曄先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



課題1 (初段階以上)

窓の外には、東京の夜景が広がって  
いた。風の強かった日で、上空のス  
モッグは晴れ、対岸の窓明かりは手  
を伸ばせば掴めそうに近かった。

「東京夜景」吉田修一

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。  
ペンまたはボールペン(黒色)  
を使用のこと。青インクは不可。
- (2) 段級欄は本人が記入(色は黒)  
はじめて出品される方は私製の  
紙(3×4 cm位) 次の4項目  
を記入して作品左下隅に貼って  
出品して下さい。①硬筆部②支  
部名または都道府県名③氏名ま  
たは雅号④新
- (3) 会員は無料・会員外は四〇〇円  
添削希望者は直接担当の先生に  
お申込下さい。(返信用封筒に  
自分の住所・氏名を記入し、切  
手を貼って同封のこと)。
- (4) 課題1 六〇〇円  
課題2 三〇〇円
- (5) 課題1 路川千曄先生  
課題2 〒二〇七〇〇一三  
東大和市向原  
五ノ一〇九一ノ四

課題2 (初段階以下)

草の笛吹くを切なく聞きており  
告白以前の愛とは何ぞ

寺山修司詩集